

21 世紀 COE「京都大学化学連携研究教育拠点」講演会開催報告書

化学研究所 玉尾皓平，小松紘一，川端猛夫，時任宣博、小澤文幸

講演会名：化学研究所 有機化学セミナー

講演題目：Dioxygen activation with tris(pyrazolyl)-borate metal complexes

トリス（ピラゾリル）ボレート金属錯体による酸素の活性化

講師：Prof. Klaus H. Theopold (University of Delaware, U.S.A.)

日程：2005 年 1 月 15 日（土）13:30 –15:00

場所：化学研究所 中会議室

主な参加者：化学研究所在籍大学院生・教官

総参加者概数：40 名

講演内容：

Klaus H. Theopold 教授は、金属錯体を用いたオレフィン重合反応および酸素錯体の性質に関する基礎研究で業績をあげられている著名な研究者である。

今回のご講演では、特にトリス（ピラゾリル）ボレートを支持配位子としてもつ遷移金属錯体による酸素(O_2)の活性化および生成した酸素錯体による各種結合活性化反応について、最新の研究成果が紹介された。また、その関連において、イミド錯体の合成と反応性についても言及された。

講演内容に関する質疑応答も、在籍大学院生を含め活発になされ、意義のある講演会となった。